お問い合わせ：
和光市保育センター
〒351-0104 埼玉県和光市南
2-3-3 みなみ保育園２F
TEL：048-483-4407

２０２６年９月発行

保育センター通信
～第２号～

和光市保育センター
HPはこちら

絵本でつくる、親子の時間

お子さんから「これ読んで！」と絵本を差し出されたことはありませんか？
忙しい日常の中で、おうちの方に絵本を読んでもらう時間は、お子さんにとって何にも代えがたい安心の時間です。
本号では、絵本がお子さんの成長にどうつながるか、年齢や発達に合わせた絵本の選び方のヒントなど、絵本の魅力についてお届けします♪

絵本がもたらす効果

①情緒の安定

読み聞かせを通して、大人の体温や声のトーンを近くで感じながら、**「自分は大切にされているんだ」「自分を見てくれているんだ」**という安心感が、お子さんの**自己肯定感**を育みます。

②色々な“ことば”との出会い

絵本には、擬音語・擬態語（オノマトペ）や、日常会話では使わないような豊かな言葉がたくさん詰まっています。絵本を通して、**たくさんの言葉と出会う楽しさやワクワク感**を味わったり、**自分の気持ちを言葉にして伝える力**を育てることができます。

③想像の世界を広げる

絵と言葉を通して、頭の中で物語をイメージすることを楽しみながら、**想像力**が広がります。
また、物語の中で「主人公はなんで泣いてるんだろう」「かなしいのかな？」と考えることで、相手を思いやる気持ちや、相手の気持ちを想像する**共感性が**育ちます。

年齢に合わせた絵本の楽しみ方

0歳
色やリズムを楽しむ

意味を理解するよりも、絵本を通して、色鮮やかな絵を目で楽しんだり「トントン」「ガラガラ」といったリズミカルで耳に心地よい言葉を、全身で感じ取ることができる絵本を選んであげるとよいでしょう。

1・2歳
身近なものや言葉の繰り返しを楽しむ

身の回りのものに興味を持ち始め、「くだもの」「のりもの」「動物」など、身近なものが登場する絵本が大好きな時期です。
また、同じフレーズが何度も繰り返される絵本は、次に何が起きるかわかる安心感と、「あ、知ってる！」という発見の喜びを味わいながら楽しむことができるので、おすすめです。

3歳
想像を広げながら、ストーリーを楽しむ

登場人物の気持ちに少しずつ共感したり、自分を重ね合わせたりしながら、ストーリー全体を楽しめるようになる時期です。
「次はどうなるんだろう？」とドキドキワクワクする気持ちを味わえるような物語がおすすめ。絵本のなかの出来事を現実の生活と結びつける力がぐんと伸び、想像の世界が広がってきます。

4・5歳～
物語を通して登場人物の気持ちに共感する

少し長めのストーリーも楽しめるようになり、物語を通して自分とは違う立場の人や、登場人物の複雑な気持ち・物語の背景も想像できるようになります。また、知的好奇心が育ってくるので、特定のジャンルや自分の好きなものをとことん追求できるような絵本を選ばせてあげることで、「知りたい！」「おもしろい！」の気持ちを満たしてあげたいですね。

おわりに…

読み聞かせは、親子の大事なスキンシップの時間です♪
上手に読めなくても、疲れていたらお休みしても大丈夫。忙しいときや時間がないときは無理せず、一緒に絵本をめくったり眺めるだけでも、素敵な親子の時間になります。
ご自身のペースで、心地よいタイミングのときに、親子でお気に入りの1冊を見つけてみてくださいね♪